

2022 Project

参加テーマ企業

・株式会社HMit・株式会社メモリード・友池産業株式会社
・さくらフォレスト株式会社・C-Brain株式会社・NPO法人ASIA

参加大学

・福岡大学18名・福岡工業大学22名・福岡女子大学3名
・中村学園大学11名・福岡女学院大学8名・福岡デザイン専門学校1名
・近畿大学1名

2018 Project

【参加テーマ企業】さくらフォレスト株式会社・三和ホールディングス株式会社・タンスのゲン株式会社・株式会社博運社・三國有限公司・南福岡自動車学校・株式会社メモリード・NPO法人ASIA

【参加大学】福岡大学66名・九州大学3名・中村学園大学9名・西南学院大学1名・筑紫女学院大学38名・福岡女子大学2名・福岡工業大学9名・九州工業大学7名・九州産業大学1名

2017 Project

【参加テーマ企業】株式会社ウインズジャパン・株式会社南福岡自動車学校・株式会社三松・株式会社アイ・ケイ・ケイ・株式会社エッチ・ピー・エス・(一社)福岡友情ネットワーク・株式会社メモリード・さくらフォレスト株式会社・株式会社博運社・株式会社ありがとうサービス

【参加大学】福岡大学66名・九州大学3名・中村学園大学9名・西南学院大学1名・筑紫女学院大学38名・福岡女子大学2名・福岡工業大学9名・九州工業大学7名・九州産業大学1名

2016 Project

【参加テーマ企業】株式会社ありがとうサービス・一般社団法人飯塚友情ネットワーク・株式会社久原本家グループ本社・さくらフォレスト株式会社・株式会社TSIECストラテジー・株式会社博運社・社会福祉法人豊栄グループ・株式会社メモリード

【参加大学】93名(福岡大学66名・筑紫女学院大学19名・九州大学3名・西南学院大学3名・九州工業大学1名・福岡女学院大学1名)

2015 Project

【参加テーマ企業】一般社団法人飯塚友情ネットワーク・株式会社ありがとうサービス・株式会社GUIDER・株式会社久原本家・株式会社博運社・株式会社メモリード・社会福祉法人豊栄グループ・Hopewill Group (Holding) Ltd.

【参加大学】138名(日本人学生…121名・留学生…17名)福岡大学69名・福岡女子大学20名・西南学院大学12名・筑紫女学院大学6名・中村学園大学5名・九州大学4名・福岡工業大学3名・九州産業大学1名・福岡教育大学1名・留学生17名

2014 Project

【参加テーマ企業】(一社)飯塚友情ネットワーク・株式会社A-future・大口酒造株式会社・株式会社紙資源・株式会社久原本家・株式会社ゴーゴラボ・シンゲンメディカル株式会社・株式会社サニックス・(福)豊栄グループ・株式会社丸松セム・株式会社メモリード(計11社)

【参加大学】101名(日本人86名・留学生15名)福岡大学61名・九州大学5名・中村学園大学15名・西南学院大学6名・福岡女子大学1名・久留米大学2名・近畿大学2名・福岡歯科大学1名・福岡外語学院1名・九州情報大学3名・九州産業大学2名

2013 Project

【参加テーマ企業】(一社)飯塚友情ネットワーク・株式会社A-future・大口酒造株式会社・株式会社久原本家・株式会社ゴーゴラボ・株式会社サニックス・株式会社ニチポー環境エンジニアリング・(福)豊栄グループ・株式会社メモリード(計9社)

【参加大学】125名(日本人87名・留学生38名)

2012 Project

【参加テーマ企業】株式会社メモリード・株式会社久原本家・大口酒造株式会社・株式会社ウインズジャパン株式会社・株式会社サニックス・豊栄グループ・飯塚友情ネットワーク・株式会社ニチポー

【参加大学】福岡大学62名・九州大学6名・中村学園大学2名・西南学院大学11名・筑紫女学院大学7名・福岡女子大学4名・久留米大学4名・九州外語学院3名・九州工業大学2名・九州産業大学1名参加学生合計:108名(日本人学生72名・留学生36名)

2011 Project

アジアビジネスプランコンベンション(Breakthroughの前名称)

【参加テーマ企業】株式会社メモリード・株式会社久原本家・大口酒造株式会社・株式会社リンガーハット・株式会社メロディアン・株式会社意美堂・Japanonline株式会社・株式会社ニチポー

【参加大学】福岡大学38名・九州大学28名・中村学園大学14名・西南学院大学5名・筑紫女学院大学4名・福岡女子大学2名・久留米大学2名参加学生合計:92名(日本人学生70名・留学生22名)



大学生と留学生が協働し、
企業の問題発見とその解決に取り組む
11ヶ月間の実践型
インターンシップ プロジェクト

Breakthrough Fukuoka

2022 年前期 制作日 10月25日
Breakthrough Fukuoka 2022 執行部

Breakthrough Fukuoka 2022

現状分析・問題発見・問題解決からなる11ヶ月の活動

(ブレイクスルー)

Breakthrough Fukuokaは、大学生が企業の問題発見と解決に取り組む、11ヶ月間の実践型インターンシップです。

About Breakthrough

福岡県内の学生が学生ならではの視点で企業の問題発見とその解決に取り組む長期実践型インターンシップを行う学生団体です。

2022年度は、6大学1専門学校が参加し学校の枠を超え、執行部とプロジェクト部に分かれ発表会の運営やプロジェクト活動を学生主体で行っています。

そして、この活動から多くの社会経験をすることで社会人基礎力を身につけていくと共に、今の自分の得意なこと・苦手なことを発見し、自分と改めて向き合う場所、また自分が将来何をしたいのかを見つける場所として存在します。

Purpose

人生の経営者になる

- 1 学生が主体的に組織の運営やプロジェクト活動を行い、国内外における幅広い人間関係を構築し人間性を育むこと。
- 2 学生が社会人基礎力及び問題発見力と問題解決力、企画力等を身に付け国際社会に対応でき、実社会の即戦力となるグローバル人材になること。
- 3 急変する社会の中で学生がこの活動を通じ、企業・経営者と密接な関係を築き、就職を含む自分自身の将来の選択肢を広げる。

Vision

ビジョン

より多くの大学から学生を集うこと。また、Breakthroughの活動を九州・西日本、全国へと広げ、実社会の即戦力となるグローバル人材になる学生の輩出を目指す。

Activities

Breakthrough運営のために発足したNPO法人ASIA

2012年Breakthrough(ブレイクスルー)の活動支援のために発足しました。Breakthrough(ブレイクスルー)の趣旨に賛同いただける法人・個人に会員になっていただき、その会費で活動が支えられています。

Goal

目標

- ①新組織体制を構築し次年度につなぐ
- ②来場者数:500人を目指す
- ③参加学生全員が成長する
- ④インターン先や来場した社会人の方々を感心させられるような発表をする。

Breakthrough Fukuoka 2022 執行部

目標

- ①新組織体制を構築し次年度につなぐ
- ②来場者数500人を目指す
- ③参加学生全員が成長する
- ④インターン先や参加された社会人の方々に感動させられるような発表会をする



執行部 member

学生代表	松本 昇一郎	福岡大学 商学部 商学科 3年
学生副代表	吉田 琴美	福岡大学 商学部 商学科 3年
	加瀬 大樹	福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 4年
福島 健人	中村学園大学 代表 流通科学部 流通科学科 4年	
戸浦 真奈	中村学園大学 副代表 流通科学部 流通科学科 4年	
川原 冴也香	福岡工業大学 副代表 社会環境学部 社会環境学科 3年	
江藤 慈彩	福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 3年	
高木 空	福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年	
伊藤 歩美	福岡大学 副代表 商学部 経営学科 3年	
一坊寺 冬華	福岡大学 商学部 経営学科 3年	
佐藤 愛美	福岡女学院大学 代表 人文学部 現代文化学科 3年	
糸数 滯	福岡女学院大学 副代表 人文学部 現代文化学科 3年	
植本 峻介	近畿大学 産業理工学部 産業ビジネス学科 4年	

私たちは「プロジェクトのためには何をすれば良いのか」などを日々考えて会議を重ねています。

執行部はあまり表に出て活動することはありません。

プロジェクトのように周りや競い合いながらコンテスト優勝を目指すことも無いので、周りの学生から見ても面白くないように見えるかもしれません。

しかし、発表会などでプロジェクトメンバーが輝く姿を見ることが出来たり、

イベントを成功させたりした時の満足感や達成感他人のために動くことの多い執行部だからこそこのものだと思います。

活動が上手いかず、壁にぶつかるとありますが、異なる大学、学年のメンバーと支え合いながら

新たな発見、成長を繰り返し私たちはこれからも大きくなっていきます！

参加学生集め

1年のスタートはここから

3月下旬～4月上旬にかけて運営学生で集まり、学生集めの計画立てや活動紹介用のプレゼンテーション・チラシの作成を行います。その後、各大学の教授に連絡を取り、授業の一部の時間を頂いて学生に向けてプレゼンテーションを行い、参加学生を募ります。学生集めは今後1年間の活動を左右するため、執行部の重要な仕事でありBreakthrough Fukuokaの魅力がいかに伝えられるかが腕の見せ所です。



発表会設営

執行部の腕の見せ所

Breakthrough Fukuokaの発表会は大きく分けて2種類あり、活動のブラッシュアップや中間報告を目的とした「中間発表会」と「守・破・離」それぞれの活動の集大成を発表する、年3回の「前・中・後期発表会」があります。

まず中間発表会では、メンターの方々にプレゼンテーションを見ていただき、活動内容や構成などについてフィードバックを頂きます。プロジェクトは頂いたフィードバックをその後の活動に活かし、各企業の問題発見・課題解決に少しずつ近づいていきます。

また年3回開催される前・中・後期発表会では1000人規模のホールに社会人の方々や保護者、高校生に加え、来賓として大学長などもご招待をします。私たち執行部は発表会のプログラム作成や会場の照明のタイミング調整、OPムービーの作成などの事前の準備から当日の司会、受付、誘導、統括など全てを学生だけで行います。執行部の役割で最も時間をかけているのがこの発表会に関する準備です。とても大変ですが、最も達成感を得ることが出来るイベントでもあります。



プロジェクト統括

影の立役者

プロジェクト統括はプロジェクトの活動がより良いものとなるように手助けを行う役割を持っています。今年度の参加学生は9割以上がBreakthrough Fukuoka 1年目で何から始めたらいかがわからない状況でした。そういった学生に対して運営のプロジェクト経験者がアドバイスをしたり、活動状況を見ながらメンターやOB・OGとプロジェクトのメンバーを繋ぎ合わせたりしていきます。また月に1度リーダー会を開いて各プロジェクトのリーダー同士の交流を図ったり、悩みを聞いてそれを解決するためのイベントを企画したりします。

スケジュール作成

地味だけど、大事

3月下旬から4月上旬にかけて執行部学生で話し合って作成していきます。活動をより良いものとするために勉強会などのイベントを盛り込む一方で、学生の本業である勉強との両立が可能なレベルに日程を抑えることも重要です。

勉強会

知識が身につく役に立つ

2022年度は計5回の勉強会を企画・開催しました。「守・破・離」の考えに基づき、こういった勉強会を企画すれば活動に役立つかを運営学生で議論し、その専門である教授に講義のお願いをします。Breakthrough Fukuokaには各学部・学科の学生が集まっているため、経営学や経済学などに普段触れることが少ない学生も一定数在籍していますが、この勉強会に参加することで活動に役立つ知識を身につけることができます。



SNS運用(ホームページ)

私たちのこと、みてみて～

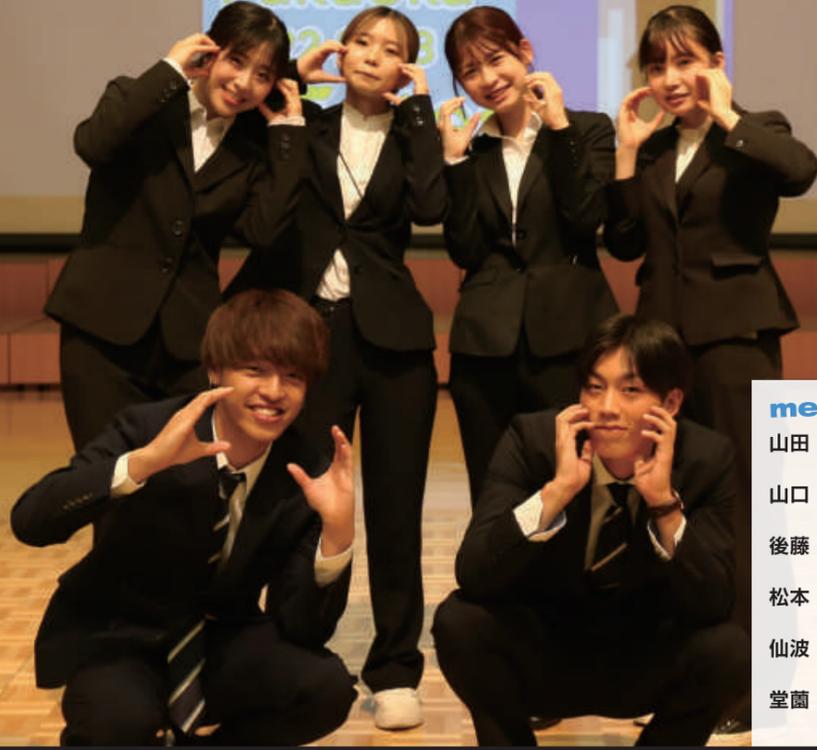
私たちの活動を発信するのも大事な仕事です。現在はInstagramとホームページを活用してBreakthrough Fukuokaの活動について発信しています。Instagramでは各発表会や勉強会等の写真の投稿やイベントの告知などをおこなっています。また執行部としてのアカウントも作成しており、オフショットなども公開することで、より関わりやすい雰囲気作りも心がけています。ホームページではBreakthrough Fukuokaの趣旨や目的、プロジェクト紹介などを行っています。

パンフレット作成

まさにこれ!

このパンフレットがBreakthrough Fukuoka 2022執行部が初めて関わったものになります。何を伝えたいのか、どのようなコンテンツを載せるのかを何度も話し合い作成しました。





member

- 山田 和輝 福岡大学 商学部 経営学科 3年
- 山口 晃楽 福岡大学 商学部 商学科 3年
- 後藤 有沙 福岡大学 商学部 貿易学科 3年
- 松本 龍 福岡大学 商学部 経営学科 3年
- 仙波 望理 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 1年
- 堂蘭 咲良 中村学園大学 流通科学部 流通科学科 2年



member

- 前田 夏希 福岡大学 商学部 経営学科 3年
- 塩川 素々 福岡大学 商学部 経営学科 3年
- 杉本 匠 福岡大学 商学部 経営学科 3年
- 原 穂香 福岡大学 商学部 商学科 3年
- 梶木 麻有 福岡女学院大学 国際キャリア学部 国際英語学科 3年
- 谷山 みのり 福岡女学院大学 国際キャリア学部 国際英語学科 3年
- 河口 菜 福岡女学院大学 国際キャリア学部 国際英語学科 3年
- 谷口 もか 中村学園大学 流通科学部 流通科学科 3年
- 高鍋 将希 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年

C-Brain Project

テーマ: 海外に触れることで自分たちの
価値観や視野を広げ、将来の財産にする。

インターン先:

C-Brain株式会社

医薬品等の中国通販。中国の2大モール(国際天猫T-mall、国際京東10.com)に店舗を構え、日本商品の通信販売を行っています。

前期の活動

私たちは前期発表会までに特に他社分析を頑張りました。自社の新たな健康食品を無名の状態からどのように価値をつけて売っていけばよいのかを考えるために、同じBreakthroughで活動しているさくらフォレストさんにヒアリングのご協力をお願いして活動を進めていきました。また、商品を購入した際に付いてくる同梱物に目をつけ、実際に競合の商品を取寄せ、同梱物がどのように工夫されているのかを調べました。



後期の活動

前期発表会を通して私たちは、「中国」をもっと知る必要があると感じました。そこで私たちは中国の留学生と交流し、中国について学びを深め、そこから得た情報や経験から、アンケートを作成し、実際に留学生の多い大学へ足を運んでアンケート調査を行っていきたくと考えています。



さくら Project

テーマ: “踊る肉団子”をもっと多くの人に届ける

インターン先:

さくらフォレスト株式会社

健康食品と美容品等の通販を行う会社。日本国内のみならず、台湾、香港、中国、韓国、フィリピン、シンガポール、ベトナムと多くの国に展開している通販会社。

前期の活動

前期の活動では、自社分析としてさくらフォレスト株式会社の社員ヒアリングを行いました。その中で売上げが年々減少傾向にある踊る肉団子に着目し、月間売上げ250万円を目標に活動してきました。競合他社である周辺の居酒屋へ実際に足を運び他社分析を行ったり、アンケート調査で顧客分析を行ったりしました。どれが最優先に解決しなければならない問題なのかを考え、「看板メニュー」「差別化」「話題性」という3つの課題を見つけました。そして踊る肉団子が活気溢れるお店になるために、学生ならではの視点で企業の方に提案していきました。



後期の活動

月間売上げ250万円を達成するために、改善チームと開発チームに分かれて活動を行っています。改善チームでは、踊る肉団子の現状を把握した上で売上アップを目指し、より良いお店にするために様々な試行錯誤を行っていく予定です。具体的な活動として、看板メニューやメニュー表の改良、SNSの更新などを考えています。開発チームでは、今までに無かった学生目線での提案を行っていく予定です。具体的な活動としては、新メニューの開発、学生主催のイベントなどを行っていき、踊る肉団子を盛り上げていこうと思います。





member

- 山崎 沙也香 中村学園大学
流通科学部 流通科学科 3年
- 大嶋 きらり 中村学園大学
流通科学部 流通科学科 3年
- 中嶋 美咲 福岡女学院大学
国際キャリア学部 国際キャリア学科 3年
- 石飛 日向 福岡女学院大学
国際キャリア学部 国際キャリア学科 3年
- 下川 愛佳 福岡女学院大学
人文学部 現代文化学科 3年
- 河口 瑚乃香 福岡女子大学
国際文理学部 環境科学科 2年
- 中溝 隆太 福岡工業大学
社会環境学部 社会環境学科 2年
- 黒岩 勇斗 福岡工業大学
社会環境学部 社会環境学科 2年
- 緒方 めい 福岡デザイン専門学校
高度総合デザイン科 視覚情報デザイン分野 2年



member

- 入江 椎菜 福岡大学
商学部 経営学科 3年
- 高木 弦太 福岡大学
商学部 経営学科 3年

イルミオ Project

テーマ: 選ばれる・女王様になれるホテルへ

インターン先:

株式会社メモリード

主軸となる冠婚葬祭サービス事業(互助会事業)を中心に、長崎・佐賀・福岡で営業展開をしている会社です。なお、メモリードグループとしては、都六県に営業展開しています。

前期の活動

私たちはプロジェクト開始早々、実際にインターン先であるガーデンテラス福岡に1泊2日で宿泊をさせていただきました。自社を理解すると共にメンバーとの絆を深めました。また同シリーズのホテル見学・他ホテルインタビュー・街頭インタビューなどを行い、様々な視点から自社を分析してきました。

前期発表では、聴衆の目を惹くために、パーティドレスやタキシードを着てプレゼンテーションを行い、イルミオらしさ全開で挑みました。

後期の活動

私たちは1度活動目標を考え直し、新たなテーマを掲げ現在活動を行っています。私たちは「女王様」を1つのキーワードとし、「新たなプランの考案・知名度アップの為に何をすべきなのか」を活動の軸としました。10月には満足度において高い評価を得ているホテルへの宿泊を予定しております。様々な場所に沢山足を運び、知恵を絞り、他プロジェクトと切磋琢磨しながら日々活動しています。宿泊者が何を求めホテルに足を運ぶのか、試行錯誤を繰り返して「選ばれるホテル」を目指していきます。



フクトモ Project

テーマ: 長期的な活動ができる基盤を創る

インターン先:

福岡友情ネットワーク

NPO法人ASIAの理事でもある縄田修先生が20年前から留学生の支援活動を福岡市でも行おうとできた団体です。留学生と日本人学生の交流や留学生の悩みである就職の支援を行っています。

前期の活動

前期コンテストまでに行った活動は留学生との交流です。留学生との交流は、学校同士の交流となるとお堅い雰囲気になってしまうかもしれないと思い、まずは国際交流のパーに遊びに行ってみました。そこでは様々なお話を聞かせていただくことができ、それまで留学生と一括りにしてしまっていた人達はそれぞれ個人であることを改めて認識することが出来ました。活動を進めれば進めるほど「留学生」という枠の中で考えてしまいがちな中、考え直すことができ、個人によって悩みも様々だということがわかりました。

そこで様々な悩みを抱えている留学生が気軽に立ち寄れるコミュニティ作りを長期的に出来ればと思いました。

後期の活動

前期コンテストでは質疑応答で私たちに足りていないところなどの様々なご指摘を頂きました。そこから私たちは、留学生について知ること、そのうえで長期的な活動を続けていくための1歩目としての活動についてしっかり考えていきたいと思っています。そのためにもまずは留学生との交流を通してお互いについて知ることが重要だと思いました。目標達成に向け楽しみながら活動していきたいと思っています。





member

- 青屋 渉 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年
- 河津 まりあ 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年
- 川村 祐翔 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年
- 坂口 晃貴 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年
- 坂元 健太郎 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年
- 鞭馬 翔吾 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年
- 北村 頼透 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 1年
- 猿渡 駿真 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 1年

インターン先:
福岡友情ネットワーク
NPO法人ASIAの理事でもある縄田修先生が20年前から留学生の支援活動を福岡市でも行おうとできた団体です。留学生と日本人学生の交流や留学生の悩みである就職の支援を行っています。



member

- 桑原 美佳 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 3年
- 中村 優花 福岡女子大学 国際文理学部 国際教養学科 2年
- 米山 純平 福岡大学 経済学部 産業経済学科 2年
- 岩本 陽向 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 1年
- 野口 瑞季 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 1年

インターン先:
友池産業株式会社
OA機器関連、及び液晶関連部品等の加工・販売、バックライトユニットの開発・販売。
EVエンジン・底用機能性塗料の開発、販売。

フコトモ Project

テーマ: 来年度に向けた
留学生メンバーの巻き込み

前期の活動

前期は、活動や会議への参加者が少なく、リーダーなど一人一人の役割が決まっていなかった。そのため、何をしたらいいのか、意欲なども様々であったため、活動が停滞していました。このままでは本当にプロジェクトが終わってしまう、どうにかしようと、前期の後半で、なぜこのプロジェクトを選んだのか、なにを目標として活動を進めるのか、一人一人の役割を決めて、プロジェクトメンバーみんなでよく考える時間を作りました。

後期の活動

後期は、自分たちの目標である、来年のBreakthroughの留学生参加者を各プロジェクト1名に入れるという長期的な活動を目標に、まずは留学生と仲良くなることから始めていきたいと考え、月1でイベントを予定しています。先日、執行部の方と私たちが主催したBBQはとても盛り上がりました。今後の予定としては、ハロウィンやクリスマス、バレンタインパーティーなどを予定しており、楽しく活動をしていきたいと思えます。



PADA Project

テーマ: EV船の普及

前期の活動

活動当初、私たちはEVモーターはもちろん船のことでさえ未知の状態でした。そこで、まずは船のエンジンのことや業界についてなど基礎的なことから始めました。ネットリサーチを始めとし、船の停泊場であるマリナーやエンジンを製造している他社へ足を運ぶなどして知識を深めてきました。船という日常に馴染みのないことであるため実際に足を運び現場の人の声を聞くことで毎回新しい発見を得ることができました。世界では着々と普及が始まっているのですが、日本ではEVモーターの販売は自社が初めてだったのです。パイオニアとして、何をしていくべきか前期では考えそれをもとに試行錯誤しながら活動を行なっています。

後期の活動

EVモーターを普及していく上で重要となってくるのが行政であると考えました。環境意識の高いであろうSDGs未来都市へヒアリングを行なったのですが、電気自動車さえ普及していくのが難しいようでした。そこで、行政もパイオニアとして協力してもらえるところへ!!とヒアリングを続けています。普及していくにはまだまだ課題が多くありますがどこから普及していくのが私たちの最大の課題となりました。





member

- 清原 健太郎** 福岡大学 商学部 経営学科 3年
- 佐野 愛純** 福岡大学 商学部 貿易学科 3年
- 黒岩 凜華** 福岡大学 商学部 貿易学科 2年
- 山下 大翔** 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年
- 升田 真虎** 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年
- 河津 丞偉** 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 2年
- 馬場 愛** 中村学園大学 流通科学部 流通科学科 3年
- 早田 みさき** 中村学園大学 流通科学部 流通科学科 3年
- 田中 玲奈** 中村学園大学 流通科学部 流通科学科 3年
- 坂本 凌** 中村学園大学 流通科学部 流通科学科 2年
- 吉田 聖舟** 中村学園大学 流通科学部 流通科学科 2年
- 濱崎 希実** 福岡女子大学 国際文理学部 国際教養学科 2年
- 永石 遥夏** 福岡デザイン専門学校 デザイン学科 視覚情報デザイン専攻 2年

守

現状分析

6月 — 9月

企業と学生の協働による現状分析

インターン先企業の自社分析・他社分析・現状市場分析など活動の基盤となる基礎データを収集。街頭・店頭でのアンケート収集。現状分析は、その後の問題発見・問題解決を行う上でプロジェクト活動の最も重要な取り組みです。前期コンテストでは、インターン先企業の現状分析を発表します。

破

問題発見

9月 — 11月

分析から問題と原因と活動

現状分析を継続し、分析の中から何が問題なのか、何が原因なのかを学生ならではの視点で追究し問題解決の糸口を発見します。中期コンテストでは学生が抽出した問題を発表します。

離

問題解決

11月 — 3月

仮説と検証そして問題解決

「守」の現状分析をもとに「破」で発見した問題の構造とその原因が明らかになると、解決に対する可能性が見えるようになり、目標達成のために、発見した問題に対して仮説と検証を繰り返し顧客目線で問題解決に取り組みます。後期コンテストではインターン先企業から提示された「設定目標」達成への取り組みを発表します。

Schedule

初旬	企業説明会	Breakthroughの趣旨と11カ月の活動の流れと、これまでの実例や実績を説明する。
4月	学生説明会	インターン先企業およびプロジェクト内容の説明から、学生が活動企業を選ぶ。
5月	結末会	インターン先企業に対して、学生のプロジェクトメンバーが決定、11カ月の活動開始。
6月	勉強会	守の勉強会。現状分析に必要なツールを学ぶ。
7月	第1回中間発表会	【現状分析】のプレゼン改善を目的としたインターン先企業やメンターによるアドバイスや意見の場。
8月	勉強会	破の勉強会。
	第1回ブラッシュアップセミナー	メンターとの相談会・ブラッシュアップ会
9月3日	前期発表会	守 インターン先企業の【現状分析】を主としたプレゼンテーション発表。社会人の方々に評価して頂き順位を争う。
10月	第2回ブラッシュアップセミナー	メンターとの相談会・ブラッシュアップ会
	勉強会	離の勉強会。
11月5日	中期発表会	破 学生目線でインターン先企業の【問題発見】を主としたプレゼンテーション。社会人の方々に評価して頂き順位を争う。
12月		
1月	第3回ブラッシュアップセミナー	メンターとの相談会・ブラッシュアップ会
	インターン先企業次年度枠募集開始	
2月	第2回中間発表会	【仮説の提案】のプレゼン改善を目的としたインターン先企業やメンターによるアドバイスや意見の場。
3月11日	後期発表会	離 インターン先企業の【企業テーマの問題解決】を主としたプレゼンテーション。社会人の方々に評価して頂き順位を争う。

新事業創設 Project

テーマ: 会社の追体験を行う

前期の活動

目標を定める

これまでの活動を行なっていく中で、上手なプレゼンしようと考えてきました。しかし、上手なプレゼンを行うことがBreakthroughの根幹ではなくて、自分たちが定めた目標や、企業の課題をどのように達成するかが重要であることに気づきました。目標がブレてしまうと自分達のモチベーションが上がらず、楽しく活動ができないことにも気づかされたので、自分達のPJの目標を達成するために今後は楽しく活動していきたいと思えます。

後期の活動

自分達のPJは会社の「追体験を行う」という目標で活動していきます。会社の追体験とは、営業を行い、契約を結び、サービスを提供することです。無知の状態でも営業に出ても成果を得ることはできないので、初めは会社の方に同行をするなどして、自分達だけで営業できるスキルを身につけて、自分達の方で株式会社HMitの売上に貢献していきます。そして、サービスの提供まで自分達の方で行っていき、クライアント様を満足させることまでが会社の追体験だと考えています。

インターン先:

株式会社HMit

モールECにおけるコンサルティング/制作/運用を主軸としたECサポート企業。ECの各分野のスペシャリストが集まり、昨年の9月に創業。



学生の声



松本昇一郎
執行部
福岡大学3年生

より良い将来のため

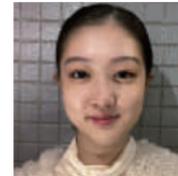
私はBreakthroughを通して、思考力や行動力が以前よりも高くなったと感じています。また、多くの社会人の方とお会いし、毎日が出会いの連続なので、自分自身の視野が広がりました！チャレンジ精神を忘れずに、様々な経験を積みながらこれからも頑張っていきたいと思います！



戸浦真奈
執行部
中村学園大学4年生

出会いと学びとレベルアップ

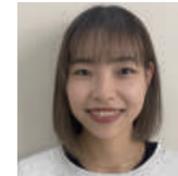
Breakthrough Fukuokaは、社会人としての基礎だけを学ぶのではなく、多くの人との出会いがあるからこそ、自分とは違う考え方や価値観に触れ、新しい発見をすることができ、失敗したり成功したりを繰り返して、成長することができる活動だと思います。今はまだ、刺激を貰ってばかりなので、良い刺激を与えられるような人材になりたいです。



中嶋美咲
イルミオPJ
福岡女学院大学3年生

「人生経験の場」

私が考えるBreakthroughの魅力は、同年代から自分の祖父母世代まで幅広い年代の方との出会いがあることです。また、PJ会議や発表会でのプレゼンテーションを通して、自分の成長を感じることはもちろん、今まで知らなかった自分の能力を日々発見しています。



前田夏希
さくらPJ
福岡大学3年生

挑戦することの大切さ

私はBreakthroughを通して、自分達で会社の問題解決を行い、普段の学生生活では得られない貴重な経験をしました。問題解決を行っていく中で、新しい事に挑戦する機会が多く、判断力や責任感を身に付けることができました。また他校の学生や社会人の方と関わる機会が増え、様々な価値観を知る事で自分自身の視野も広くなり成長できたと思っています。今後も沢山の事に挑戦し、積極的に行動していきたいです。



吉田琴美
執行部
福岡大学3年生

成長を感じる日々

入ったばかりの頃は言われるがままにしか行動が出来ていなかったのですが、Breakthroughでしかできない体験をしていくにつれ、考える力が付き主体的に動くことが出来始めています。また、大学の枠を超え沢山の学生と交流できていること・社会人の方と関わらせて頂けていることがどれだけ貴重な体験なのかを身にしみて感じており、この環境を大切に活動に励みたいと思います。



植本峻介
執行部
近畿大学4年生

出会いから学んだコミュニケーション力

私はBreakthroughに2年間在籍し、1番の強みは出会いだと感じました。会社訪問、発表会のご招待などを通じて、普段の生活で出会うことのない多くの方々との交流する事が出来ました。そして、交流していく中で自分に足りなかったコミュニケーション力を身につけることが出来ました。この経験は、Breakthroughでしか体験出来ないと思うので、この活動に参加して心からよかったと感じています。



吉田聖舟
新事業創設PJ
中村学園大学2年生

現状分析の重要性

このBreakthroughでは、通常は学生が学べないことをたくさん学ぶことができます。その中でも自分が一番大切であり、重要だと感じたところは“分析を行うこと”です。企業の問題を発見して解決するためには現状を分析する必要があります。分析がおろそかになるとその場しのぎのプレゼンではできたとしても全く解決につながりません。だからこそ分析が重要だと感じることができました。これから就職活動を行っていく中で、自分の強みは何なのか、弱みは何かを知る必要があります。そこでBreakthroughで学んだ“分析を行うこと”を活用していきたいと思っています。



原穂香
さくらPJ
福岡大学3年生

様々な角度から物事を見る力

企業とのやり取りは勿論、他大学のPJメンバーとの活動は、私に新たな発見と価値観を与えてくれました。また、自分達が見つけた問題に対し、試行錯誤を繰り返すブレクスルーの活動では、様々な角度から物事を見る力が鍛えられ、自身の内面的な成長に大きく結びついたと感じています。



加瀬大樹
執行部
福岡工業大学4年生

常に考える習慣づくり

この活動に参加し、常にどうしたらいいか何かないのか考える習慣ができました。常に考えることでちょっとしたきっかけで新たな発見に繋がったり、発想力が向上したりしました。社会に出て活躍していける力を養うことができたと感じています。



伊藤歩美
執行部
福岡大学3年生

挑戦してみることが新たな自分との出会いに繋がる

Breakthroughの活動を通して、人との繋がり、成功・成長の為に先を読んだ行動、例え右も左も分からなくてもとりあえず挑戦し動いてみる勇氣、熱い気持ちを持った自分と出会う事が出来ました。そして実行したのち大きな達成感と自分の経験値に繋がりました。



桑原美佳
PADAPJ
福岡工業大学3年生

新しい出会い、発見

私がBreakthroughに入って1番良かったと思うことは、仲間と切磋琢磨し合いながら成長できることです。大学も違い出会うはずのない学生同士で会議をし、行動することで今までの自分では発見できなかったことを発見でき、多様な価値観も発見できました。仲間が頑張っている姿で私も頑張ろうと思えます。また、活動内でも普通だったら話さずのいない大人の方々とお話することができるため、とてもいい経験になっています。この経験を就活や将来に役立てていきます。



入江椎菜
フクトモPJ
福岡大学3年生

積極性と自信を得られる

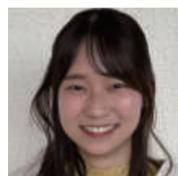
Breakthroughでの活動を行っていく中で、自分たちが普段過ごしているだけでは接する機会が無いであろう人と接するために自分から積極的に動くようになり、様々な人と関わることで、自分の価値観が変わったり、相手のことを深く考えたりするようになります。それと同時に人付き合いの難しさを知り、悩んだこともありましたが、様々なことを思い返してみると活動を始めてから、「前の自分じゃ絶対にやっていなかっただろうな」と思うことが増えました。どんな経験も考え方によって学びにも繋がっただけの思い出にもなると思います。Breakthroughでは自分が動けば動くほど周りの人が助けをくれて、学びに近づけます。頑張ったという自負が確固たる自信につながるのだと思いました。



福島健人
執行部
中村学園大学4年生

正解がないからこそ育まれる主体性

Breakthrough Fukuokaは新しく生まれ変わった1年目の組織のため、やることのほとんどが初めての試みです。何から始めていいかわからず苦戦することも多くありましたが、正解がないからこそ自分達で試行錯誤し、行動に移すことで主体性を育むことができました。困った時には各大学の教授や経営者、OB・OGなど様々な方に相談できる環境があり、学生同士では気づくことができなかった新たな価値観に触れることで、更に成長することができたと思います。



山崎沙也香
イルミオPJ
中村学園大学3年生

将来への投資

この活動で学ぶことはとても多く、その一つ一つが明日の自分に繋がっていると日々感じます。人前に立つ勇氣や、自分の意見を述べる楽しさ、普段関わることの無い仲間との出会いが将来の自分にどう繋がるのかが楽しみで仕方がないです。楽しむことを第1に頑張りたいです。



中村優花
PADAPJ
福岡女子大学2年生

コミュニケーション能力・説明力

自分から積極的に話すことで、企業や行政の方から多くの情報・ご意見をいただけることを、訪問やヒアリングを通して実感しました。自分たちの活動の説明や質問をすることで今でも苦手意識はありますが、説明が上手なPJメンバーからたくさん吸収してもらって成長したいです！



高木弦太
フクトモPJ
福岡大学3年生

大人と関わる面白さに気づいた！

僕はブレクスルーを通して、人と関わることの面白さを知ることができました。ブレクスルーのOB・OGの方々からは多くの面白い話を聞くことができたり、自分の将来に役立つような話を聞くことができたなど、ブレクスルーに参加し、様々な人と関わることで様々な刺激を貰うことができました。

OBOG の声



山野 成範 2012 年度卒業

Hopewill Japan

私が学生の方に伝えたいのは、「プロジェクト活動を誰よりも楽しんで、努力しよう」という点です。私は今33歳で、大学を卒業して約10年が経ちました。私は当時ブレイクスルーと出会い、10年経った今では会社を経営し、十分ではありませんが英語を使って仕事をしたり、様々な事業にチャレンジしようとしていたりしています。なぜここまで成長できたのか？それは「ブレイクスルーを楽しんで努力したから」これに尽きます。ブレイクスルーの1年間がなければ卒業後は適当に就職して、今頃どこかの居酒屋で会社の上司の愚痴を言っていたでしょう。長くなりましたが、騙されたと思ってできることに全力で取り組んでください。



田中 京介 2017 年度卒業

第一施設工業株式会社台湾支店 役職:事業開発

答えはない！常に新しいことに取り組むことは大事だと思っています。「今までがこうだったから」とか「これまでのやり方と違う」等の発言に恐れず自分の考えを信じてください。そのためには隅から隅まで考え抜く癖をつけて実行する体験を何度も積んで自信をつけてください！



相良 燦太 2018 年度卒業

株式会社ありがとうサービス 鹿児島店店長

私はBreakthroughでインターンシップした企業に就職しました。Breakthroughを通じ様々な人との出会い、経験がありました。もし、それがなかった人生と比べるとより少し自分を理解し、より少し自分に自信が付き、より少しそれを実行する力が付き、何よりかけがえのない仲間ができました。環境はここにあります。是非あなた主体で全力で取り組んでみてください。



脇田 向日葵 2020 年度卒業

株式会社あつまる 採用・広報グループ 責任者

幹部メンバーとして日々奮闘しています。個性を大事に、自分らしさを忘れないことは大事なことだと思いますが、時には、「自分らしくないな」と思うほどのチャレンジをして、ドキドキハラハラゾクゾクするような経験を是非してほしいなと思います。その経験ができるから、私はBreakthroughにいたんだらうなと振り返って思います。とにかくドキドキするほどのチャンスがあり、時にはキツイ時もありますが、「ここで夢を叶える力をつけてやる!!」と思って活動していました。この力は、どのPJに所属していてもつけられる力であり、未来にも繋がる力だと思っております。本気でPJ活動に取り組んでいる人にとって、Breakthroughは最高のターニングポイントになると思います。私は昔から、一度きりの人生、思いっきり欲張りだと思っています。やってみようことにはどんどん挑戦して、たくさん失敗して、たくさん凹んで、その分うまくいったらたくさん仲間と喜び合って、最高の人生にしていきたいと思っています。一緒に欲張って、頑張って、人生楽しんでいきましょう\(^o^)/



寺門 稜 2021 年度卒業

株式会社スタイルビー セールスコンサルティング局

Breakthroughを通して失敗と成功の経験を積み上げ自分自身の成長へと繋げることができました。参加した当初は学生だからそんなことできるはずないと決め込んでいたのですが、真剣に向き合ってもらえる企業側の方々サポートもあり、学生だからできることを何度も教えて頂きました。Breakthroughで得た知識はもちろん、失敗と成功の体験は社会人2年目の今でも役に立っているなと感じることが多々あります。チャレンジしながら今後の成長に繋がるよう本気で向き合い、最後までやり抜いて貰えたらと思います。先輩方は社会人になり即戦力として活躍されている方が多いですが学生の皆さんも同様に社会に出て活躍できるよう、今までの経験を通して少しでも役に立てるよう一緒に取り組めたらとおもいます。



守屋 彩乃 2012 年度卒業

株式会社メモリード、株式会社あんしんリンク代表取締役社長

ブレイクスルーの活動では運営組織の立ち上げおよびプロジェクト活動に励んで参りました。これらの活動を通じて失敗をたくさん経験でき、この失敗の積み重ねにより根拠のない自信と失敗を恐れない勇気を身に付けることができました。インターン先の施設にアボ無しで乗りこんで怒られたり、段取りが悪く訪問先の先生に迷惑をかけたり、、、今思えば失敗の毎日でした。しかし、ブレイクスルーという挑戦する場所では、どんな失敗や困難も乗り越えることができました。この経験があるからこそ、社会人になった今、何事もやり遂げることができるという根拠のない自信及び困難な場面でも失敗を恐れず突破する勇気が身に付き、仕事の原動力となっています。



平山 健也 2017 年度卒業

株式会社メモリード

私が福岡大学1年の時、友人の紹介で、Breakthrough と出会いました。最初はやる 気がない方でしたが、運営やプロジェクト活動で、様々な挑戦・成功・失敗体験をする 中で、自分の得意不得意が明確になった時、『知らない自分との出会い(実は自分はこういう人だったんだ)』に感動し、その感動が忘れられず、いつの間にか活動に夢中になっていました。活動に全力で向き合い、取り組んだ先には、良い意味で、自分の、企業の何かが変わっていると思うのです。この活動に参加する皆様の『何かが変わる』お手伝いを、Breakthrough に育てて頂いた恩返しのために行えたらと思います。



吉田 竜汰 2018 年度卒業

株式会社サイバーエージェント

得られる機会も経験も全て自分の選択と行動次第

この活動をしていると、辛い事や苦しい事、逃げ出したいと思う事も沢山ありますが、それ以上にやり続けて良かったと思う気持ちと経験、人脈が最後には待ってます。

Breakthroughで活動する事で、他の学生達より遊ぶ機会も減るかもしれませんが、それ以上の対価が得られます。この活動では、全て自分の選択次第でどんな経験でも得られます。是非、本気で頑張る仲間たちと共に素晴らしい学生生活にしてください。



曾根 麻由 2020 年度卒業

株式会社システナ システムエンジニア

自分らしさという「自信」とかけがえのない大切な「仲間」を得られる環境

私自身大学生時代の4年間、Breakthroughの活動を通して、多くの人生の先輩方との出会いやプレゼン発表等、様々な経験から自分らしさを「自信」として身につけることができ、そして活動を全力で一緒に駆け抜けた同級生・先輩・後輩は私にとって本当に大切にかけがえのない存在「仲間」になりました。これは社会人3年目を迎える今もなお実感できています。今回伴走者として再び関わらせて頂くことになり、現学生の皆さんに、この活動を沢山楽しみ、悩み、行動し、全力で取り組んだ数だけ、自分の未来への手助けになるヒントを得られることを伝えられるよう一緒に取り組んでいきたいと思っています。



松尾 諭志 2021 年度卒業

フリーライター

Breakthroughでの活動を始めてから感じるようになったのは、自分の発言が周りから笑われるようになったことです。高校生までの私は、挑戦したこともないのに事あるごとに限界を決めていました。しかし、大学生になってBreakthroughを知ったときに大きな夢や目標を真剣な目で語り、実現していく先輩方に会いました。そんな先輩方に少しでも近づきたいと頑張ってきて、今の私があります。夢や目標を決めるときは大きなほうが良いということではなく、「大きな夢や目標を実現していく先輩を目の当たりにしたらもう言い訳できないじゃん!」という気持ちでした。笑われても一度や二度成功すれば、周りにも「本気だったんだ」と思ってもらえるようになります。今では、笑われる瞬間が心地良かったりもします。そんなカッコいい先輩方に追いつけるように、これからも頑張ります!

学生の皆様へ

高校生みなさんは、これから大学、専門学校、就職、起業など様々な大きな選択をすることになります。その中でもなにをしたいのかわからず大学に進もうと思っている高校生の方が多いのではないのでしょうか。また、大学生生活を目的なく送っている方もいるのではないのでしょうか。

そんな皆様に大学の中の活動の一つである「Breakthrough」をご紹介します。

この活動はまず執行部が、この活動に参加する学生を集めることから始まり、年に三回ある発表会の開催、プロジェクト部の進捗確認等、すべてを学生で運営していきます。プロジェクト部では、インターン先の問題点を発見し学生ならではの視点で問題を解決していきます。このように、新たな挑戦をしたり自分のできることが増えていったりする中で、自分自身の長所・短所、将来やりたいことなどが見つかります。また、今年度この活動には6大学1専門学校の学生が参加しているので、大学に入学し、限られた範囲内での交流関係に留まることなく、他大学・社会人と繋がることのできることも魅力の一つです。より実践的な社会人基礎力を学ぶことができるこの活動に参加し就活時に周りとの差をつけるきっかけにもなります。ぜひ一度私たちの発表会に参加し大学でこんな活動があるということを知っていただきたいです。

企業の皆様へ

私たちは、学生のうちから社会人の方々に関わり、企業の問題に真剣に取り組んでいます。「Breakthrough Fukuoka」という組織を学生主体で運営していくことで、社会に出た時に出てくる問題を今のうちから体験し解決しようと日々奮闘しているので将来就職した際に新人社員としてではなく、第1戦で活躍できる力をつける学びを日々おこなっています。実際にBreakthroughを卒業した先輩方も入社後から頭一つ抜けた存在として様々な場所で活躍をされています。

また、発表会では学生視点の新たな意見が飛び交うことに加え、様々な業種の社会人の方々とも交流ができますので、自社の問題発見や課題解決のきっかけとなることもあるかもしれません。発表会に来ていただいた皆様には、「学生がここまでするのか」と思って頂けると考えておりますので是非私たちの可能性をご覧ください。



活動のメリットはなんですか？

人脈が広がったり、就活に役立ったりすることです。

活動しながらバイトはできますか？

可能です。時間の使い方が上手になります。

授業として単位はとれますか？

大学によってはゼミの単位として取得することは可能ですが、基本的には単位は取れません。

活動は楽しいですか？

楽しいです。いろんな大学の人と関わることができ、プライベートでも遊びに行くようなメンバーも沢山います。

忙しいですか？

忙しいですが、それぞれのスケジュールに合わせて助け合いながら役割分担をしているので自分の時間との両立が可能です。

活動後活躍されているかたはいますか？

さまざまな業界で活躍されている方がいます。また、海外で活躍されている方もいらっしゃいます。

Breakthroughを通じて就職した方はいますか？

はい。プロジェクト活動を通じ、そのままインターン先に就職した先輩方は何人もいます。Breakthroughでは学生も企業もお互いをよく理解した上で就職するのでミスマッチもありませんし、プロジェクト時の活動をそのまま企業に入っても継続している先輩もいます。

どんな大学のひとがいますか？

今年度は福岡大学・福岡女子大学・福岡女学院大学・福岡工業大学・中村学園大学・近畿大学・福岡デザイン専門学校の6大学1専門学校が参加しています。みんな学部学科もバラバラです。

一年生でも参加できますか？

2022年度の参加学生は4年生4人・3年生34人・2年生22人・1年生5人です。1年生の参加人数は他と比べると少ないですが、積極的に活動に参加して活躍している学生もいます。

活動期間はどのくらいですか？

2022年度は5月末からプロジェクト活動を開始し、3月上旬に終了します。

活動するうえでお金はかかりますか？

かからないです。交通費などはインターン先が負担します。

活動頻度はどれくらいですか？

週に一度の定例会議があります。加えてプロジェクトによって活動のなかで訪問に行ったり発表会へ参加したりがあります。

活動場所はどこですか？

プロジェクト活動は天神事務所、各大学、インターン先、ズームにて行っています。プロジェクト活動ではアンケート収集等で天神や大学に赴くだけでなく、現地調査で国内・海外を飛び回り自分の目と体で学び、問題解決へ取り組みます。



参画・協力教員



鄭 雨宗

福岡工業大学 教授

Breakthrough Fukuokaは社会で活躍できる魅力の人材に育てられる「社会実験場」
いつの時代でも人との関係は重要であり、関係作りには線の「つながり」、面の「ひろがり」、立体的な「ふかまり」が大事にされています。このBreakthrough Fukuokaでは学生の主体性に基づき、コミュニケーション能力、思考力・分析力、プレゼンテーション能力の向上が期待できます。その力を通じて、他大学の学生とは横の「つながり」があり、他分野の社会人と交流できる「ひろがり」があります。さらにOBOGとの縦の「つながり」があり、人間の魅力を感じさせる「ふかまり」が実感できるひとつの「社会実験場」です。このBreakthrough Fukuokaという「社会実験場」で自分を磨きましょう。



浮田 英彦

福岡女学院大学 教授

思考せよ・挑戦せよ・協同して事にあたれ

経産省の概念「社会人基礎力」です。この概念は3つの能力と12の要素に3つの視点で構成されています。活動はPBL型学修で行われ、それにより社会人基礎力の能力・要素・視点の全てを体験できます。この体験が貴重な経験値となり学生のキャリア形成に良質な影響を与えています。



合力 知工

福岡大学 教授

多様性を学び、差別化されたアイデアを創出できる絶好の場所

Breakthroughの最大の特徴は「多様性」だと思います。異質な文化を持った留学生との交流や独自の企業文化を持つインターン先の徹底研究などを、複数の大学の学生たちが、それぞれの価値観や個性を交差させ、競争と協働を通じて実践する場所、それがBreakthroughです。こうした多様性を体験し、それを受け入れることにより、他者とは異なる差別化されたアイデアを生み出すことができるようになります。メンターも学生と一緒に日々成長を目指します。



武永 茂久

福岡デザイン専門学校 講師

本格的な「探究型学習」を学生主体の複合組織で。それがBreakthrough Fukuoka
問題の本質、あるいは伝えなければいけない魅力の本質をいかに導き出すか。そもそも何が課題なのか？与えられたこと、決まっていると思えることの奥底にある本質を探り、解決方法を模索していく。決まった答えをいかに早く導き出すかという画一的な教育では得られない「探究型学習」がここにあります。実際の企業案件に取り組むプロジェクトチーム。それをサポートし、全体を担う執行部チーム。それらはすべて複数教育機関の学生たちで組織されています。これからの社会で本当の意味で必要とされる能力を磨きあげる場がBreakthrough Fukuokaです。



前田 卓雄

中村学園大学 教授

Breakthrough Fukuokaは、所属も専攻も異なる学生たちが集い、時にはぶつかり合い、時には悩み、助け合って、確実に成長をしていける場です。Breakthrough Fukuokaの活動で学生に求められるものは、何よりも自主・自律の積極的な姿勢です。インターン先の企業から課せられる様々なプロジェクトは、どれも社会人経験のない学生にとって、解決が困難な課題ばかりです。だからこそ、もがき、苦しみ、メンターやOB・OGの力を借りながら、課題解決した時の喜びや達成感は格別であり、この経験が学生たちを確実に成長させ、彼(彼女)らの一生の財産となります。私たちは、失敗を恐れず、果敢に挑戦していく学生たちの活動を支援しています。



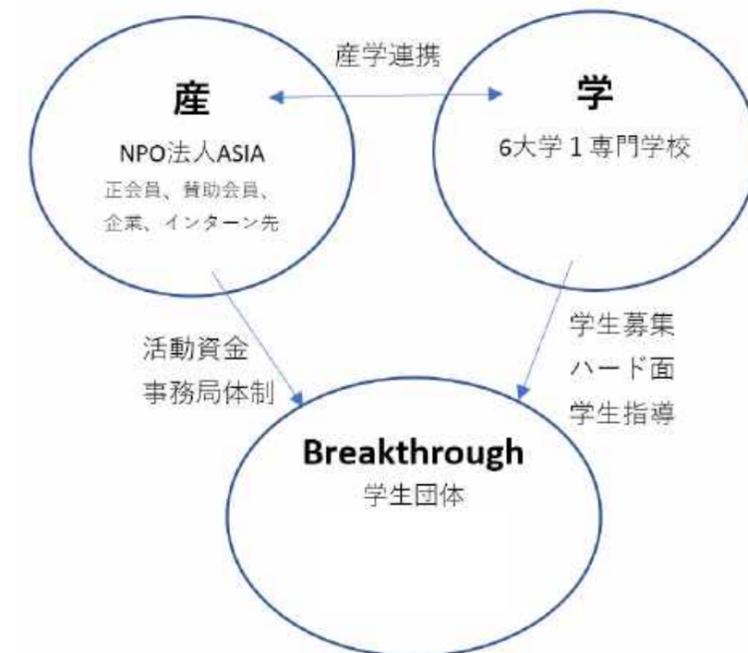
櫻木 理江

福岡女子大学 准教授

ここでしか出来ない経験による成長

学生時代に「これを頑張った!」と胸を張って言える経験をして大学を卒業出来る学生たちは、特に文系の場合にはそれほど多くないと思いますが、Breakthroughの活動は、まさにそのように胸を張って語れる活動だと感じています。実際に活動を行うことによって身につく考える力や行動力のみならず、ここで出会う仲間や社会人とのつながりも、たとえお金を払っても手に入らないような貴重なものとなります。自己成長を目指す多くの大学生の皆さんに、Breakthroughの活動に参加してもらえる事を期待しています。

6大学1専門学校の教員の協力による学生集客、発表会や会議の場所、勉強会の開催、メンターとしての指導による支援。



特定非営利活動法人 ASIA



「地域活性化に寄与し、国際競争が進むアジアの中で活躍する若者の人材育成」を目的に平成21年8月に任意団体として「特定非営利活動法人ASIA」を設立、活動を開始いたしました。

活動の軸は、留学生と日本人学生が協働して取り組む、戦略課題の解決型インターンシップ推進支援（Breakthroughブレイクスループロジェクト支援）

ボーダレス化で拡大する国際市場、その開拓に取組む企業の『グローバル化への戦略』と地域社会に基盤を置く企業の『ローカルでの存在価値創出の戦略』を課題に留学生と日本人学生が協働して取り組む課題解決型インターンシップ推進支援です。

国内外の課題の解決・グローバル化の促進をする、この活動に多くの賛同を得て産学官の三者をあげて取り組む事業となっております。

留学生の安心・充実した学生生活支援とボランティア活動

また、これらの活動を通して日本での生活で孤立する留学生の実態を目の当たりにし、安心・充実した学生生活の中で日本の若者と交流できるよう平成24年9月より留学生への生活支援・ボランティア活動も行っております。

今後より一層活動の輪を広げ、グローバル化の促進に関わるという志をおなじくする企業・留学生・日本人学生が集う場をつくります。

地域活性化に寄与し、国際競争が進むアジアの中で活躍する若者の育成に関する事業を行います。

また、留学生が日本を好きになってもらうために日常の生活を支援する事業を行い、お互いの経験交流や学び合うこと、支え合うことなどのサポート機能を充実させていく所存です。



代表理事 吉田茂視

「問題解決型」、「実践型長期インターンシップ」であるBreakthroughでは、福岡市内の大学生が、企業が出すテーマ課題の解決に取り組んでいます。Breakthroughの活動が福岡からアジアへ未来の架け橋となって九州経済が活性化するよう、行政、産業界、学術界が連携して対アジア協力体制を作っていきます。将来の日本とアジア諸国の要となるのは若者たちです。どうか皆様にもこれからの時代を担う学生の活動にご理解いただき、ご支援いただきますようお願いいたします。



副代表理事 阿比留正弘

日本の人口が90年間に8000万人増加して、日本の高度経済成長を支え、大量生産、大量消費の過程で学歴主義が生まれたました。しかし、2000年から2100年にかけて日本の人口は今度は、逆に8000万人減少し、パラダイムシフトが起きようとしているように感じます。しかし、多くの人はこのパラダイムシフトを自分のこととは感じることなく、過去の感覚のまま、生活しているように思っております。ベンチャー起業論・ブレイクスルーでは、この変化に注目し、新しい時代はどんな時代になるのかという課題について、インターネットや書籍などの情報収集だけでなく、いろんな専門家に直に意見を聞きに行くことを活動の中心としております。その際に、学生の1番の弱みは1番の強みであります。それは何かというと何も「知らない」ということです。わからないことは、社会人になってからは「売り」にはできませんが学生はそれが「事実」ですから、それで勝負する以外にありません。そして、できるだけ多くの人に会い、怒られ、褒められ、喜怒哀楽を活動で行った人たちは、コンテストで良い成績を上げるだけでなく、社会に出てからも活躍している人が多いように感じます。今年もどんなドラマが見られるか楽しみにしています。

特定非営利活動法人 ASIA (NPO法人ASIA)

特別顧問 石原 進 (九州旅客鉄道株式会社 相談役)
顧問 酒見 俊夫 (西部ガス株式会社 代表取締役会長)

代表理事 吉田 茂視 (株式会社メモリード 取締役会長)
副代表理事 阿比留 正弘 (福岡大学経済学部 教授)

理事 長谷川 裕一 (株式会社はせがわ 相談役)
理事 羽田野 節夫 (羽田野総合法律事務所 所長弁護士)
理事 縄田 修 (ナワタ消化器外科医院 院長)
理事 正田 英樹 (株式会社ハウインターナショナル 会長)
理事 鄭 雨宗 (福岡工業大学社会環境学部 教授)
理事 合力 知工 (福岡大学商学部経営学科 教授)
理事 浮田 英彦 (福岡女学院大学人文学部 教授)
理事 前田 卓雄 (中村学園大学流通科学部 教授)
理事 庵 博文 (C-Brain株式会社 代表取締役)
理事 壇 健太郎 (ever 代表)
理事 有吉みよ子様 (有)シアンデザインマネジメント代表

監事 篠原 俊 (篠原公認会計士事務所 代表)

正会員

C-Brain株式会社 / KCJ GROUP 株式会社 / アサヒビール株式会社 / アトモスダイニング株式会社 / 株式会社Hmit / キャリアパス株式会社 / ケービー食品株式会社 / さくらフォレスト株式会社 / さわかみ投信株式会社 / タンスのゲン株式会社 / トヨタカローラ博多株式会社 / 一般社団法人飯塚友情ネットワーク / 羽田野総合法律事務所 / 学校法人福岡成蹊学園 / 株式会社Happiness Trade / 株式会社グスク / 株式会社三和ホールディングス / 株式会社ティー・エル・エス / 株式会社ティーディーエス / 株式会社ハウインターナショナル / 株式会社はせがわ / 株式会社ポータル / 株式会社メモリード / 株式会社ライフナビコネクト / 株式会社三好不動産 / 株式会社若水商会 / 株式会社西原商会九州 / 株式会社電巧社 / 株式会社博運社 / 株式会社美咲 / 株式会社良選企画 / 九州朝日放送株式会社 / 九州電設株式会社 / 熊本県福岡事務所 / 三角商事株式会社 / 篠原公認会計士事務所グループ / 社会福祉法人豊の里 / 西部ガスホールディングス株式会社 / 友池産業株式会社(CDW) / 有限会社 一柳 / 有限会社 吉浦ビル / 有限会社ウエル総合企画 / 有限会社道下組 / 阿比留 正弘 / 合力知工 / 浮田 英彦 / 鄭 雨宗 / 壇 健太郎 / 角中 正博 / 松原 照明 / 二宮 芳雄

NPO法人ASIA 会員募集

日本の将来の担い手となる若者達を育てることで、地域経済の活性化に繋げる活動にご賛同いただける企業・個人を募集しています。

平成21年9月より任意団体として活動を始めた当団体は、法人格を取得し皆様の暖かいご支援・ご協力のお陰もあり「特定非営利活動法人ASIA」として活動しています。この活動を通して日本の将来の担い手となる若者達を育てることで、ひいては地域経済の活性化に繋がることをご理解いただき、当法人の活動にご賛同いただけたら幸いです。会費は、学生の活動費などに活用させていただきます。

正会員 資格・概要

会費	入会金 10,000円	年会費 個人30,000円
		年会費 法人60,000円

正会員は、総会における決議権を有し活動・事業計画に参画することができます。総会をはじめとする法人運営に関わる会合等のご案内・活動関連のご案内をお送りさせていただきます。

賛助会員・概要

会費	年会費 3,000円
----	------------

賛助会員は、総会における決議権などを有しませんが、納入いただいた賛助会費によって学生の活動をご支援いただけます。

お申込みに関するお問合せ

特定非営利活動法人ASIA

〒810-0004

福岡市中央区渡辺通5丁目15-6 縄田ビル203

Tel: 092-724-3071 Fax: 092-724-3609

E-mail: dai@npo-asia.com

NPO法人ASIA・Breakthrough公式ホームページ

<http://npo-asia.com/>

<http://breakthrough-asia.com/>